

◆講座&イベント情報◆

ほどがや市民活動センター「アワーズ」では

市民活動団体・生涯学習講座などのチラシも多数配架しています。ぜひお気軽にご来館ください！

学舎こころ星 サクッと体験 からだをつかったプログラミング？！

- 日時 9月8日(日) 13:30~16:00
- 会場 ほどがや市民活動センター「アワーズ」
- 参加費 無料
- 申込 不要
- 協力 パソコンよこはま宿・保土ヶ谷区社会福祉協議会
- 問合せ メール: manabia.kokoroboshi@gmail.com
- 詳細 <https://manabiyakokorobosh.wixsite.com/polaris>



学舎こころ星 HP QRコード

第5回 偕恵いわまワークス わくわくマーケット

- 日時 11月9日(土) 10:00~14:00 雨天決行
- 会場 偕恵いわまワークス 保土ヶ谷区岩間町1-7-15 岩間市民プラザ内(相鉄線 天王町下車2分)
- 問合せ 偕恵いわまワークス わくわくマーケット実行委員会
- 詳細 <https://i-works.kaikei-en.com/>
- 備考 当日、会場を一緒に盛り上げてくれる方も大歓迎！



偕恵いわまワークス HP QRコード

ほどがやパソポラ「初めての初級講座」受講生募集

- 日時 10月分: 1日(火), 4日(金), 8日(火), 11日(金), 16日(水), 21日(月)
11月分: 5日(火), 8日(金), 12日(火), 15日(金), 18日(月), 22日(金)
12月分: 2日(月), 6日(金), 9日(月), 11日(水), 17日(火), 20日(金)
- 時間 9:30~12:30 (1回3時間×6回) ■募集 各月8名(先着順)
- 会場 保土ヶ谷区川辺町5-11「かるがも」3階 ■参加費 2,000円(テキスト代含む)
- 申込 はがき、メールで氏名、年齢、住所、電話番号、マイパソコンの有無、希望日を記入。
[宛先]〒240-0001 保土ヶ谷区川辺町5-11「かるがも」3階 保土ヶ谷区福祉保健活動拠点内
メールボックスNo.19「ほどがやパソポラ」宛 ※毎月20日締切
- 問合せ ほどがやパソポラ 佐藤 090-4412-4078 (月~土9:00-18:00) E-mail: hsv14@sc.catv-yokohama.ne.jp



「発見ウォーク」鎌倉古道「中の道」を通り常楽寺(建長寺根本の寺)から北鎌倉へ

- 日時 11月24日(日) 最終出発 9:30 解散予定 12:30
- 集合 JR本郷台駅 改札口 解散場所 JR北鎌倉駅
- 申込 ホームページ、FAX (045-339-5120) 参加者全員の氏名(ふりがな)、住所、携帯、電話番号を明記してください。
- 参加費 500円
- 問合せ NPO法人 保土ヶ谷ガイドの会
- 詳細 <https://t-hodogaya-gaido.jimdofree.com/>



HP QRコード

地域活動の情報を大募集！

ほどがや市民活動センター情報紙「OURS」は、年4回発行します。3月・6月・9月・12月(予定) 皆様の団体のイベント情報や活動の紹介などを掲載することができます。詳しくはアワーズまでお問合せください。随時、配架先も募集しています。

ほどがや市民活動センター



★情報紙アワーズを配架いただいています！★

保土ヶ谷区役所、保土ヶ谷区内の地区センター・コミュニティハウス・地域ケアプラザ、保土ヶ谷区社会福祉協議会、地域子育て支援拠点こころ、保土ヶ谷図書館、保土ヶ谷公会堂、岩間市民プラザ、横浜市内各区の市民活動センター、横浜市社会教育コーナー、保土ヶ谷スポーツセンター、ほどがや国際交流ラウンジ、WEショップ星川店・天王町店、美容室カノン、ハッピースクエア、ふれあいショップクレヨン、かたばら・スペース・しばた、偕恵いわまワークス、星川郵便局、カフェ&フラワー ローズマリー、相鉄線(保土ヶ谷区内の駅)、旭区社会福祉協議会、旭区民文化センター サンハート、旭区市沢地区センター、ナイス住まいるCafe星川、JR保土ヶ谷駅、NPO法人ぎんがむら、かながわアートホール、保土ヶ谷公園管理事務所、MICHIBA、帷子番所、狩場緑風荘、川島町公園こどもログハウス、瀬戸ヶ谷スポーツ会館、かながわ県民活動サポートセンター、かながわコミュニティカレッジ、横浜市青少年育成センター、横須賀市生涯学習センターまなびかん、横浜市民協働推進センター、YADORESI、KIKCAFE、(順不同)

開館時間
・月曜日~土曜日 9:00~21:00
・日曜日/祝日 9:00~17:00
・休館日 9/17・10/21・11/18
※駐車場はありません

ほどがや市民活動センター 情報紙

2024.9 発行 =No.56=

OURS

いつものまちで新たな一歩

スポーツや音楽のちから！

～好きな事が地域の懸け橋に～



- 目次
1. スポーツや音楽の活動が地域をつなげる！？
区制100周年に向けて！～ほどがやの今昔を伝える～
 2. ほどがや若い世代のリレーインタビュー！
 3. 昔 区民が語る「その時！保土ヶ谷で！」
 4. 講座&イベント情報



HP Facebook Instagram



編集発行:ほどがや市民活動センター(アワーズ)
〒240-0006 横浜市保土ヶ谷区星川1-2-1
TEL:045-334-6306/FAX:045-339-5120 MAIL:toiawase@hodogaya-ours.jp

スポーツや音楽の活動が地域をつなげる！？

身近な地域の施設で、大好きな趣味の活動が出来たら、素敵ですね！同じ場所で、楽しい時間を共有することで、友だちの輪がひろがります。好きな事を、好きな人と、住んでいる地域で「協力して」「工夫して」「楽しく」活動している皆さんをご紹介します。

学年や地域の枠を超えたふれあいを！

～帷子サッカークラブ～

参加者大募集中

みんな集まれ～！

U-8・U-10・U-12のクラスがあります！



帷子サッカークラブ HP QRコード

スポーツで子どもの成長を実感できる活動の楽しさ

帷子サッカークラブは、学年や地域を越えてふれあいながらサッカーを通じて体力、社会性、協調性、精神的たくましさを養う小学生のチームです。帷子小学校校庭を使った練習のほか、星川中央公園や保土ヶ谷小学校での練習もあり、ボールに触れる機会がたくさんあります。父母会の内川さん、秋山さん、佐川さんにお話を聞きました。



帷子小学校にて

「このクラブは試合も多いけれど、地元とのつながりを大切に、遠征に行くときは電車やバスの乗り方を学ぶことも大事にしています。」

「お父さんの練習参加や地域の競技経験者のボランティアが活動を支えています。負担もありますが、キックターゲットを手作りしたり、私たちも楽しんでます。」学校や地域の施設を使った活動を通じて、自然に地域とのつながりが生まれています。父母会では6年生の保護者が中心に、当番制で子どもたちをサポートしていますが、共働きの家庭が増え、時代に合わせて負担減を図っているそうです。「子どもたちの活動を支えて成長を見守れるのは、小学生の時ならではの楽しみだろうな、と思います。」



星川中央公園にて

クラブで子どもの活動をサポートするようになって、サッカー未経験者だった皆さん自身もフットサルを始めたそうです。「自分がやってみると、子どもたちががんばっていることが実感できますね。」

「親子で対戦するときもあるので、私たちも点を取りたいですから(笑)」試合の日には小さい兄弟たちも応援に来て、家族そろって楽しんでいるそうです。子どものスポーツをきっかけに、大人も一緒にみんなで楽しみながら地域のつながりが広がっています。

地域文化の向上にささやかながら貢献！！

～ほどがや区の歌合唱団～



「歌が好き！」…声を合わせて『わがまち、保土ヶ谷』



ほどがや区の歌合唱団 HP QRコード



保土ヶ谷地域ケアプラザにて

区制80周年を祝って区民参加で作られた区の歌『わがまち、保土ヶ谷』を歌い継ぐ「ほどがや区の歌合唱団」の練習が行われている保土ヶ谷地域ケアプラザにお邪魔しました。月3回の練習には、毎回50名近くの団員が集合。創設以来1回も練習を休んだことがないという絹谷さんは「とにかく歌が好き。先生のご指導に応えたい。練習が楽しいんです。」と長続きの秘訣を語ります。



運営委員会の話し合い

去年入団したばかりの佐野さんは「お友達に誘われて、最初は見学に来たんです。そうしたら練習が楽しくて、その場で入団を決めました。」とのこと。 「歌が好き」という思いを共有し、みんなで声を合わせて歌う楽しさは、ベテランも新人も変わらないようです。

運営委員会では、おでかけ合唱隊の進め方や曲目の選定、合唱団創立20周年と区制100周年への取組の他、練習会場の確保について話し合われました。区の歌合唱団では、保土ヶ谷地域ケアプラザの他に保土ヶ谷公会堂、岩間市民プラザ、かながわアートホールを練習に利用しています。「団員が通う都合を考えて、交通の便が大事。」「1回の練習時間、2時間は確保したい。」

「アンケートで団員の声を聴いたら。」など活発に意見が交わされます。利用料を予算内に抑える工夫も必要です。大勢の団員が毎回楽しく練習できる陰には、様々な運営の苦労があるようです。「こんなに楽しい趣味に出会えてうれしいです。」という皆さんの笑顔と明るい歌声のヒミツは、身近な施設を上手に使う知恵にあるのかもしれない。

区制100周年へ向けて！～ほどがやの今昔を伝える～

ほどがや 若い世代のリレーインタビュー！



第2回 こんにちは隣の〇〇さん！

松本 千花さん

YADORESI
コミュニティービルダー

～大人も子どもも一緒にアートを楽しもう～



相鉄線・星川～天王町間の高架下に新しく出来た「星天qlay」で、「みんなの図工室」を開いている松本千花さんは、このコミュニティービルダー募集に応募して、東京から保土ヶ谷にやって来ました。

「私がやりたかった『アート×教育』の活動をここで展開したい。世界を広げたい。」という思いが、保土ヶ谷と松本さんをつなげてくれたようです。

「アートと言っても、上手い下手ではなく、やりたい意思を思い切り自由に表現することが大事。大人も子どももエネルギー発散の場になれば、と思います。」とアートへの思いを語ってくれました。絵の具、粘土、段ボールなど素材は用意しますが、何をやるかは参加者の興味次第。小さな子どもを連れたファミリー層を中心に、老若男女が「みんなの図工室」には集まるそうです。

高架下に細長く続く星天qlayは、散歩や買い物、通勤・通学など日常で行き交う人たちがフラッと立ち寄って開放的な窓から活動を覗ける場所です。

「保土ヶ谷の皆さんは、人懐っこくて包容力がある感じですね。散歩の途中の人が窓から声を掛けてくれたりします。」という松本さんは、すっかり地域に溶け込んで町内のお祭りにも参加したそうです。

自分の活動だけでなく、コミュニティービルダーとして街の賑わいや盛り上がりも企画します。奇数月の第3土曜日「星天qlayの日」で、「新しいワクワクと出会おう！」とPR。「いろんな催しがあるので、皆さん楽しみに来てください。」と呼び掛けています。



みんなの図工室

YADORESIの情報はこちら；
<https://yadoresi-hoshiten.life/>



YADORESI HP QRコード

今回は松本さんが紹介してくれたお友だちにバトンタッチします！

区民が語る「その時！保土ヶ谷で！」(第2回)



教科書では教えてくれない「ほどがや」

明治の実話「四つ子石灯籠」の大騒動とは？

「ほどがや」えかたり～べ



神明社の石灯籠と工藤さん(左)、篠崎さん(右)

神戸町の神明社と西久保町の杉山社には、よく似た石灯籠が一对ずつあります。刻まれた銘を見ると、どちらも作られたのは江戸時代。まるで「四つ子」のような石灯籠をめぐる物語を紙芝居にした「ほどがや」えかたり～べの篠崎頭一さんと工藤美代子さんにお話を聞きました。

「明治時代になって神社の財産がきちんと登録されるようになった時、もともと大門通りの入り口付近にあった4つの石灯籠は神明社のものか杉山社のものか、争いになったのです。神明社のある神戸町と当時杉山社があった岩間町は互いに所有権を譲らず、若い衆の話し合いは売り言葉に買い言葉で、真っ向から衝突でした。」

紙芝居によると「喧嘩っばいやいことで有名だった保土ヶ谷っ子」同士の争いは、ついに保土ヶ谷を二分して力づくの大騒動になってしまったそうです。そこへ仲裁に現われた帷子町の兼吉さんは、思案のあげく火の見櫓に駆け上ると、「火事だ！」と大声で叫んで半鐘を激しく叩きました。大騒動の群衆はいったん喧嘩をやめて火元を探しましたが、どこにも火事は起きていません。「どういことだ。」とみんなが兼吉さんに詰め寄ると、兼吉さんは「俺は喧嘩の火を消そうと半鐘を叩いたんだ。」と答えたそうです。その後、双方落ち着いて話し合った結果、二対の石灯籠は神明社と杉山社にそれぞれ一对ずつ分けることで話がまとまりました。

工藤さんは「実際にあった話なので、おとぎ話のように空想で描くわけに行かず、当時の髪型や風俗などを調べて絵にしました。」と制作のご苦労を語ります。「前から保土ヶ谷に住んでる人はけっこうご存知ですが、今ではだんだん忘れられたお話です。騒動のあげく一对ずつ分けて丸く収めたオチがいいじゃないですか。」と篠崎さんは笑顔で話してくれました。

